

吉六ミニツアー

～横浜の江戸期作品を訪ねる～



- 春の狛犬さんぽ -

もくじ

吉六ミニツアー	1
冨塚八幡宮	2
熊野神社	3
篠原八幡神社	4
上の宮八幡神社	5
諏訪神社	6
駒林神社	7
江ヶ先八幡神社	8
もしかしたら寄るかもしれない狛犬	9
吉六 List	10

カットマンガ 林家しん平
無断使用に付き
秘密厳守の事!



◆ 吉六ミニツアー ◆

皆様のご要望にお応えし、吉六ツアーを企画いたしました。

鶴見の生んだ名工、横浜の誇り！

飯島吉六はどこがイイのか、何がスゴイのか、自分の目でじっくりお確かめ下さい。

一人の石工だけで一日のツアーが組めるなんて、吉六以外にいるか！しかも、これだけ見ても全てではない。横浜の江戸期建立作のみなのだ。他の作にも興味のある方は、最後に吉六リストを付けましたので参考にして下さい。



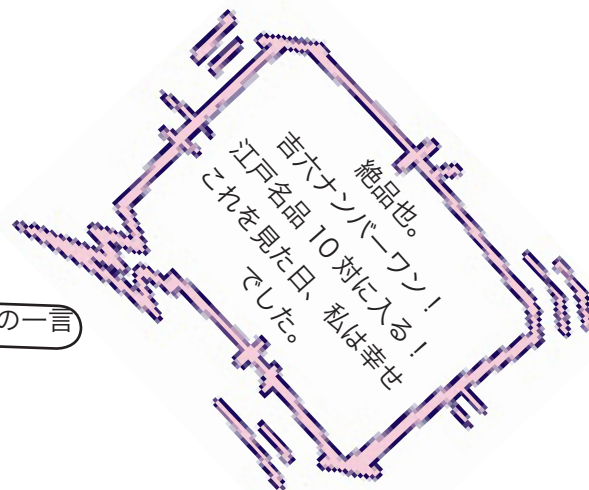
時間的な無駄を省くために、各データを記しましたので参考にして下さい。但し、円丈データと食い違いのある部分もありましたので、ご自分の目でご確認下さい。

富塚八幡宮

住所	横浜市戸塚区戸塚町 3,829
建立年	天保 12 年歳次幸■秋 8 月
西 暦	1841 年
石 工	鶴見村 吉六 藤澤 甚内
奉 納	内山仁右衛門豊賢 内山仁平兵衛親茂



円丈の一言



熊野神社

住所 横浜市神奈川区東神奈川1
建立年 嘉永元年
西暦 1848年
石工 鶴見村 飯島吉六
奉納 「石造 大獅子 狛犬」の
立て札有り



この大きさは江戸期では
日本一！かもしれない！

波瀾万丈の大狛犬物語

関東大震災では台石から落ちたらしい。空襲では火に焼けた。終戦後、神社が米軍に接収（15年間）され、物資の集積所とされてしまった。従ってココは大銀杏を残して何もなくなってしまったのだ。ではこの狛犬はドーしたのか？何と、ブルドーザーに押されて、京浜急行の土手へ埋められてしまったのだ！20年間土に埋められていたのだが、わずかに出ている耳(?)で発見され、無事元へ戻された。ヨカッタヨカッタ。

篠原八幡神社

住所 横浜市港北区篠原町
建立年 天保10亥年正月吉日
西暦 1839年
石工 鶴見橋 飯嶋吉六
奉納 本社拝殿再建
当村名主 平川四郎左衛門
同 平川源右衛門
京橋 日野屋久兵衛、久治郎
当所 世評 □田次郎



こいつはまだ見た
ことない！

ここには
嘉永のキツネも
います！

八幡神社

住所 横浜市鶴見区上の宮 1-29
建立年 文政 8 乙酉年正月吉日
西 暦 1825 年
石 工 鶴見村 飯島吉六
奉 納 願主 金井茂右工門
鶴田治兵衛



絶品である！
吉六オリジナルの
ポーズ。存在感アリ。

時間が有れば末吉神社へ行きます。
この狛犬と良く比べて下さい。

諏訪神社

住所 横浜市港北区綱島東 2-10
建立年 天保 12 ■■ ■■■ 6 月
西 暦 1841 年
石 工 鶴見橋 飯島吉六
奉 納 吉原興四郎
美濃屋勘助



出来としては
イマイチか…

円丈本にも出ています。
「子獅子がガムのように細く伸びた
オッパイを吸っている」写真で。

駒林神社

住所 横浜市港北区日吉本町 2-2
建立年 天保 9
西 暦 1838 年
石 工 鶴見橋 飯島吉六
奉 納 願主 小島吉左衛門
栗原伝蔵



尾や巻き毛、眉…絶品。
只者ではない。
オスメスの彫り分けは
一流の証明！

編集長のお気に入り！
名刺の狛犬はこれ

江ヶ崎八幡神社

住所 横浜市鶴見区江ヶ崎町 13
建立年 天明 8 申極月吉日
西 暦 1788 年
石 工 鶴見村 飯島吉六
奉 納 願主 鴨志田 興右工門



同時代の江戸尾立
よりはるかにタテガミの
様式化が進み、この時代の
石工より二歩も三歩も
リードしている。

一番古い
吉六の狛犬

拝殿前に吉六作
の隨身がある

もしかしたら寄るかもしれない狛犬

I. 冨塚神社への途中

八坂神社 横浜市戸塚区戸塚町 4,189

昭和 13 年 7 月建之 (1938)
イ口八順 石井信作、知久清太郎、
手塚クラ子

羽黒神社 横浜市戸塚区戸塚町

昭和 11 年 3 月建 (1936)

■磯吉

II. 一番最後に時間が有れば

末吉神社 横浜市鶴見区上末吉 4-14-14

天保 3 壬辰年 12 月吉日 (1832)

願主 清水助左工門

(昭和 33 年 10 月再修)

(大正 12 年 12 月石垣寄付 清水藤

吉)

吉六 List

神社名	住所	建立年月	吉六	備考
江ヶ崎八幡	横、鶴見区江ヶ崎町	天明 8 年 (1788)	4 代目 吉十郎	江戸尾立
八幡神社	横、鶴見区上の宮	文政 8 年 (1825)	軍次郎	かがみ込み
駒林神社	横、港北区日吉本町	天保 9 年 (1838)	7/8 代目 幸次郎	江戸両子獅子
六所神社	東、大田区下丸子	天保 10 年 (1839)	//	江戸
篠原八幡神社	横、港北区篠原町	天保 10 年 (1839)	//	江戸両子獅子
冨塚八幡宮	横、戸塚区戸塚町	天保 12 年 (1841)	//	江戸
諏訪神社	横、港北区綱島東	天保 12 年 (1841)	//	江戸両子獅子
熊野神社	横、神奈川区東神奈川	嘉永元年 (1848)	//	特大江戸
八幡神社	東、品川区東大井	嘉永 2 年 (1849)	//	江戸両子獅子
黒船神社	東、台東区寿	嘉永 7 年 (1854)	//	江戸両子獅子
戸越八幡神社	東、品川区戸越	明治 6 年 (1873)	9 代目 茂吉	子獅子 3 匹
白幡神社	横、鶴見区東寺尾	明治 19 年 (1886)	//	子獅子 3 匹
神明大神	横、中原区中丸子	明治 30 年 (1897)	//	子獅子 3 匹
中島八幡神社	川、川崎区中島	明治 30 年 (1897)	//	江戸両子獅子
子				
鹿島田神社	川、幸区鹿島田	明治 35 年 (1902)	11 代目 吉六	江戸両子獅子
子				
大島八幡神社	川、川崎区大島	明治 39 年 (1906)	//	玉と 砲弾
馬場稲荷	横、鶴見区馬場	文化 7 年 (1810)	現存唯一のキツネ	

飯島吉六について

鶴見の生んだ名工、石工飯島吉六。飯島石工の名の刻まれた作（灯籠、水盤、鳥居、庚申、他）は確認されているだけで150以上の数になります。勿論その中に狛犬も含まれていて、円丈師匠・阿由葉の確認したものが16対（前ページのリスト参照）あります。多分これで全てではないかとは思っていますが、ことによると未発見のものがまだある可能性もあります。

吉六は代々名乗って、明治39年の11代目の作が最後。そこで途切れたようです。初代は宝暦5年没で、狛犬的には天明8年の4代目（吉十郎）の作が現存の最古です。

他の狛犬同様、時代が下がるにつれ質の低下は否めませんが、常に同時代の石工の一步先を歩む質の高さには素晴らしいものがあります。勿論、吉六と彫ってあっても親方である吉六本人が全て彫ったかどうかは分かりません。腕のイイ職人がいて彫った可能性の方が高いかもしれません。しかし、吉六の名で残ったものは、たとえ弟子が作ったとしても、複数人での共同製作であっても、全体が吉六であると。更に言えば、初代から11代目まで連続した一つの吉六であると考えています。

吉六ミニツアー

平成11年4月18日

限定9部発行

企画・編集・発行

阿由葉 郁夫

印刷 Time Box Co.

不許複製・不許転載



希望価格 ¥100.